



# つながぎ つむぐ

☆☆☆☆☆☆☆☆ 「えべつ型コミュニティ・スクール」

令和7年2月21日  
第54号  
江別市教育委員会  
総務課・学校教育課

## 4月からよろしくね！…3つの小学校と一緒に学習 ～野幌中学校区 中学校登校と入学説明会～

2月3日（月）に野幌中学校区で2回目の中学校登校と入学説明会が行われました。今回は、野幌小、東野幌小、野幌若葉小の児童の混合による仮クラスを作り、体験授業を受けました。座席は3校の小学生がグループとなるように配置されており、初めて出会った友達と交流できるように工夫されていました。最初の自己紹介では、「好きなものを話す」「自分の前に自己紹介した友達のことについてながら自分のことを話す」というルールがあり、子どもたちが笑顔で対話する等、和やかな雰囲気が教室に広がりました。特別支援学級でも自己紹介が行われ、中学校の先生方や子どもたち同士の交流が行われました。

その後の体験授業では、数学科、国語科、理科、社会科、英語科の先生方が子どもたちを指導しました。理科の実験を一緒に行ったり、都道府県の位置と名前を教え合ったりする等、各教科の授業の中にもグループによる活動や対話が組み込まれており、他校の友達となかよくなるように工夫されていました。

子どもたちが授業を受けている間に、保護者説明会が体育館で行われていましたが、途中から保護者の方々も授業を参観し、中学校での学習の様子を見ることができました。

今回の野幌中学校区の中学校登校の取組は、約2カ月後の入学に向けて、「中1ギャップの緩和」を図り、子どもたちの進学への意欲を高めるものとなりました。



新しい友達との出会い



特別支援学級の様子



数学科の授業の様子



国語科の授業の様子



理科の授業の様子



社会科の授業の様子



英語科の授業の様子



保護者説明会の様子

## 子どもたちのゴール「15歳の春」に向けて

### ～小学校の先生が入試に向けた面接練習に協力～

2月3日（月）、4日（火）、6日（木）に行われた野幌中の3年生の高校入試に向けた面接練習で、中学校区の3校の小学校の先生方が面接官を務めました。小中一貫教育が目指している義務教育9年間のゴールである「15歳の春」に向けて、小学校の先生方も協力しつつ、子どもたちの成長を実感することができる「共育」の取組となりました。



面接練習をする中学生

# 学習や生活の重点を統一…「一貫した指導」

## ～野幌中学校区の学習・生活スタンダード～

野幌中学校区では、これまで網羅的な内容だった学習・生活のスタンダードを「学習のきまり 重点目標」と「生活スタンダード」に改訂し、重点項目を絞って中学校区で統一して指導していくことにしました。これによって、市内全ての中学校区で、独自の重点的な「スタンダード」による「一貫した指導」が進められることになりました。各教室や玄関等に常時掲示し、児童生徒への日常的な指導や来校者への情報発信等に活用されます。

野幌中学校区 学習のきまり 重点目標

- 1.チャイムがなる前に自分の席にすわります。  
(次の時間の準備もできていますか?)
- 2.正しい姿勢ですわります。  
(おしりが椅子の奥までできていますか?)
- 3.話す人の方を向き、最後まで聞きます。  
(集中して相手の話を聞けていますか?)

学習スタンダード

野幌中学校区 生活スタンダード

- 礼儀正しい言葉づかいをしましょう
- 大勢が集まるときは、話している人を見て聞きましょう
- 持ち物には必ず名前をつけましょう
- 明るく元気にあいさつを交わしましょう
- 進んで掃除をしましょう

生活スタンダード

# 中学校生活へのスムーズな移行…3回目の体験授業

## ～第二中学校区の中学校登校・入学説明会～

中央中学校区（第53号掲載）や野幌中学校区の他にも、各中学校区で次年度の中学1年生対象の入学説明会等が行われました。第二中学校区では、今年度3回目の中学校登校と入学説明会が行われ、子どもたちは、中学校の先生の授業を受け、中学生と一緒に学習に取り組みました。

総合的な学習の時間の交流会では、小学生と中学生が学習したことのプレゼンテーションをもとに、質問や感想等の質疑応答を行いました。中学校の先生による授業では、魅力ある教材を活用して子どもたちの興味・関心を引き出し、意欲的・主体的に学習に取り組めるように工夫されていました。昼食は中学校の給食を喫食し、午後は保護者の方も来校して一緒に入学説明会に参加しました。子どもたちにとって今回の中学校登校は、「中学校の1日」を体験することができ、4月に迫った入学に向けて、意欲を高める貴重な機会となりました。



中学校での体験授業の様子（国語科・理科）

# 外国語(英語科)で小中の交流

## ～外国語専科の先生の実践～

上江別小と第一小の6年生の子どもたちが外国語科の「Lesson8 Junior high school life」の学習で「中学校進学後に頑張りたいこと」についてのプレゼンテーション動画を作成しました。両校で外国語を指導している専科の先生が中学校の先生と連携し、それらの動画を第一中と第三中の先輩たちに見てもらい、子どもたち同士の交流を図る取組として行いました。小学生の英語でのプレゼンテーションの内容が素晴らしく、それに対する中学生のコメントも心温まる内容で、取組のねらいである「中1ギャップの緩和」や「自己肯定感の醸成」の効果を実感できる実践となりました。



小学生のプレゼンテーションと中学生のコメント